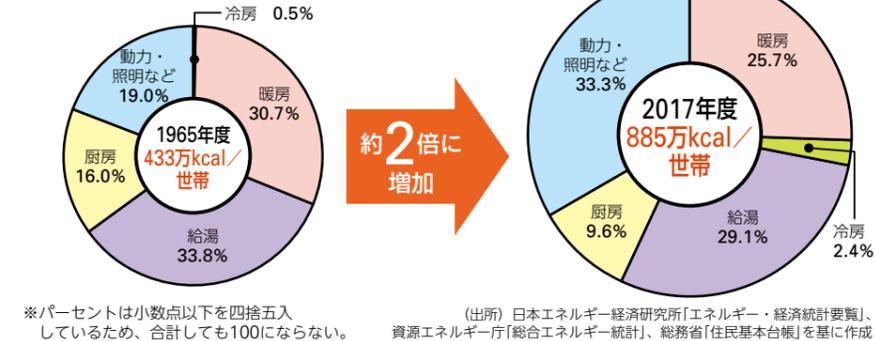


# (3) 暮らしの中のエネルギー

## ◆家庭で使われているエネルギー

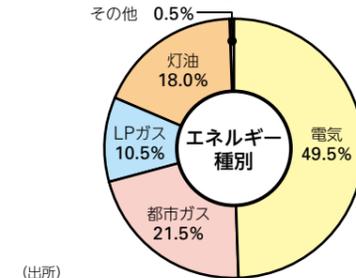
わたしたちは、毎日の暮らしの中で電気やガス、石油など、多くのエネルギーを使っている。どのような用途に使っているのか見てみよう。

### ●家庭の用途別エネルギー消費の変化



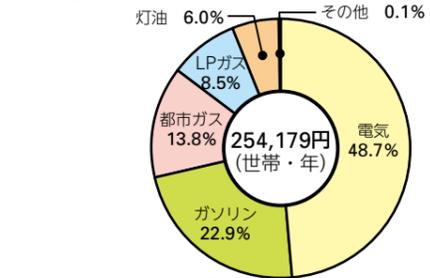
※パーセントは小数点以下を四捨五入しているため、合計しても100にならない。  
(出所) 日本エネルギー経済研究所「エネルギー・経済統計要覧」、資源エネルギー庁「総合エネルギー統計」、総務省「住民基本台帳」を基に作成

### ●家庭で使われているエネルギーの種類 (2017年度)



(出所) 日本エネルギー経済研究所「エネルギー・経済統計要覧」、資源エネルギー庁「総合エネルギー統計」、総務省「住民基本台帳」を基に作成

### ●家計のエネルギー関連消費支出 (2017年度)



※その他は石炭、薪、木炭など。  
(出所) 総務省「家計調査年報」

家庭で消費しているエネルギーの量は、1965年とくらべ約2倍に増加している。消費割合は、動力・照明など、給湯、暖房の順に多い。

動力、照明などの消費割合が大きく増えた要因は、さまざまな電気製品が普及し、また大型化・多機能化したためである。

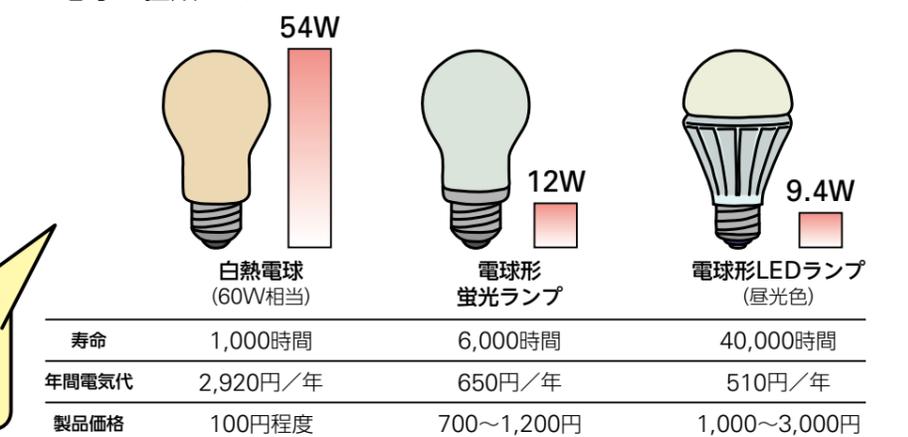
わたしたちが家庭で使用しているエネルギーのおよそ半分は電気である。また、家計のエネルギー関連消費支出を見てみると、電気代が約5割を占め、次いでガソリン、都市ガス、LPガスとなっている。

## ◆省エネタイプの電気製品を選ぼう

家庭での電力消費量が多い電気製品は冷蔵庫、照明器具、テレビ、エアコンなどである。消費量の多い電気製品ほど、省エネ性能の高い製品を選べば効果的な省エネにつながる。

家庭で使う照明は、ランプの特徴、価格と設置する場所、利用用途に合わせて選ぶとよい。

### ●電球の種類をくらべると



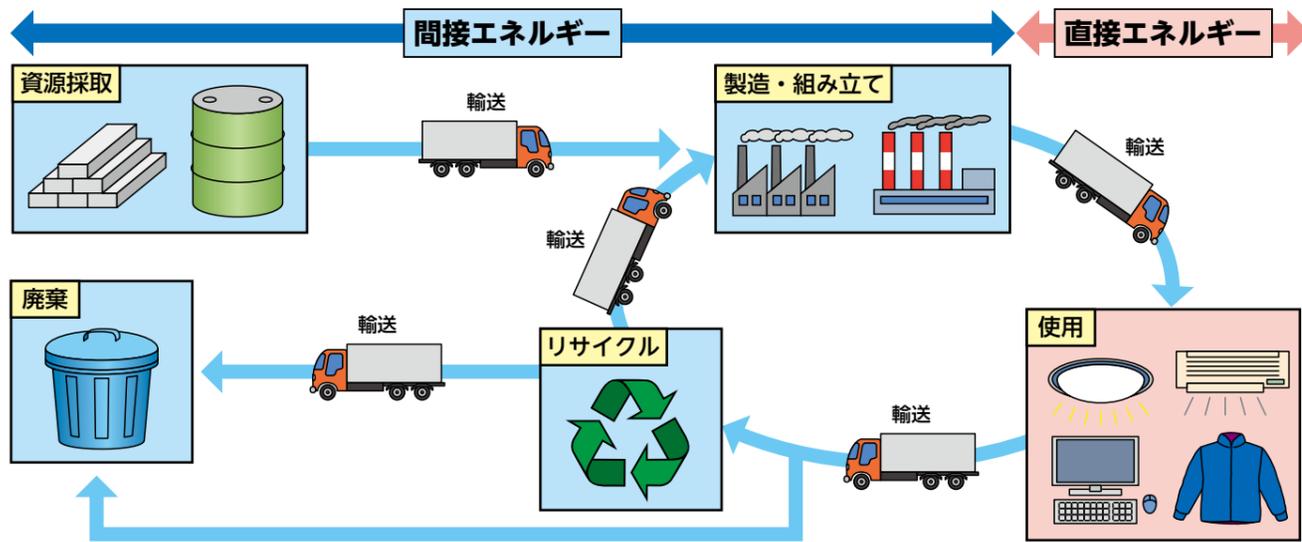
※白熱電球60W相当品での比較。年間電気代は、1日5.5時間点灯した場合の目安電気料金。  
(参考) 総合資源エネルギー調査会省エネルギー・新エネルギー分科会省エネルギー小委員会  
照明器具等判断基準ワーキンググループ最終取りまとめ  
(出所) 資源エネルギー庁「省エネ性能カタログ 2017年冬」

## ◆消費生活とエネルギー

わたしたちが消費している食べ物から衣服、自動車、住宅まで、あらゆる製品は、生産・加工の過程や製品を輸送する段階で、多くのエネルギーを消費している。これらはわたしたち消費者の立場からみれば、間接的にエネルギーを使用していることになる。

直接エネルギー	電気やガス、ガソリンなど、熱や光、動力を得るためにわたしたちが直接的に消費するエネルギー
間接エネルギー	農作物や衣服、自動車などさまざまな製品の生産から流通、貯蔵のために使われるエネルギー

### ●製品のライフサイクルエネルギー



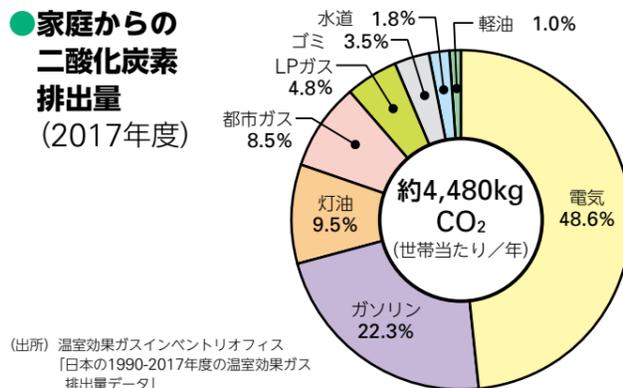
## ◆家庭の二酸化炭素排出量を減らそう

わたしたちは毎日のくらしで多くのエネルギーを消費し、二酸化炭素を排出している。

家庭から排出される二酸化炭素の量は、1日で12.3kg-CO<sub>2</sub>\*である。これは1本の杉の木が1年間に取り込むことができる二酸化炭素の量に相当する。

\*世帯当たりの二酸化炭素排出量4,480kg-CO<sub>2</sub>を365日で割った数値。

### ●家庭からの二酸化炭素排出量 (2017年度)



### コラム レジ袋をやめてマイバッグに変えたらエコ?

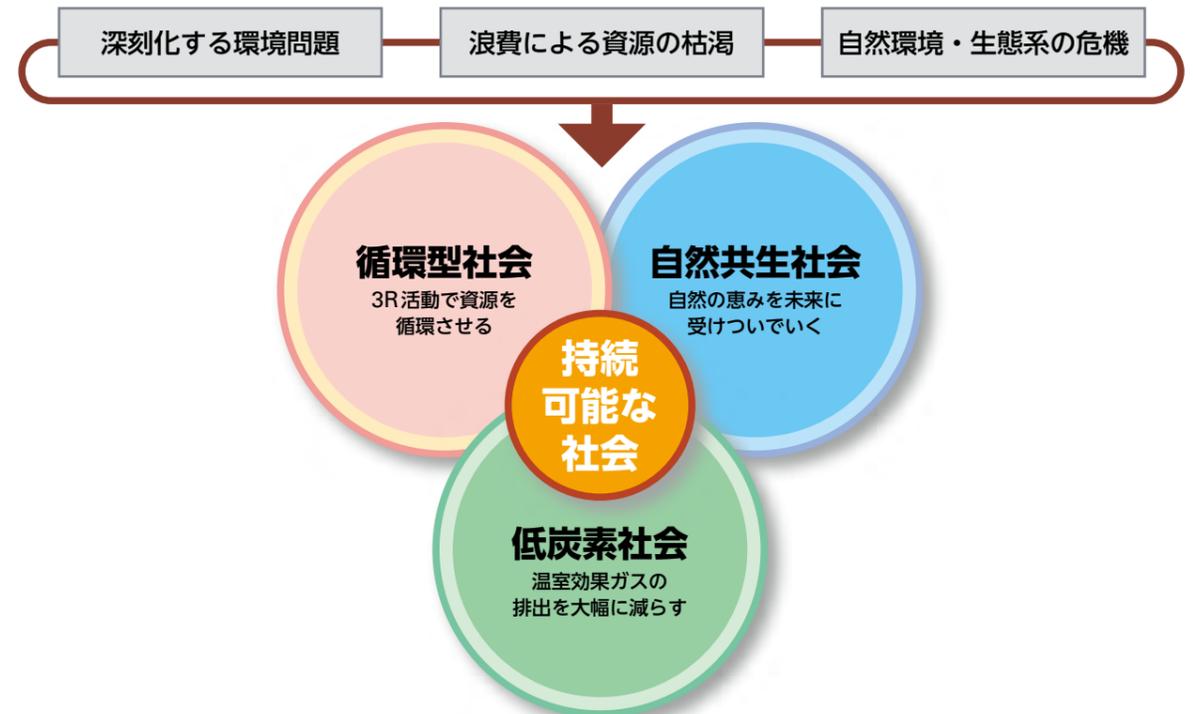
みなさんはマイバッグを持っていますか？ マイバッグの一生（ライフサイクル）で、どれだけのエネルギーを利用して二酸化炭素を排出したかを考えてみましょう。マイバッグ1枚を作るには、レジ袋の数百枚から数千枚分のエネルギーが使われ二酸化炭素を排出します。マイバッグ一枚分のエネルギーを節約するには、レジ袋を何枚断ることが必要でしょうか？ エコな暮らしに向けた活動は確かに素晴らしいです。しかし、利用するときだけでなく、物が生まれてから使用されて処分されるまでの一生を考え、自分に合った省エネ生活はどうしたら良いかを考えてみましょう。

◎家庭分野：  
・消費生活・環境についての課題と実践

◎その他の教科：  
・歴史…現代の日本と世界(日本の経済発展、グローバル化する世界)  
・理科…科学技術と人間(自然環境の保全と科学技術の利用)  
・技術分野…材料と加工の技術

## ◆持続可能な社会をめざして

わたしたちの毎日の生活は、必要以上にエネルギーや資源を消費しており、環境問題が深刻化している。そのため、問題の解決を図りつつ、将来にわたって経済成長を持続し、環境と調和のとれた「持続可能な社会」を作っていくのが課題となっている。



### わたしたちにできる循環スタイル

- ☆買う前に本当に必要か考えよう
- ☆買い物に行くときはマイバッグを持って行こう
- ☆飲み物はマイボトルを用意しよう
- ☆ごみを出さない工夫をしよう
- ☆ごみは分別して出そう
- ☆リサイクル商品を選ぼう

### わたしたちにできる低炭素スタイル

- ☆人がいない場所の電気は消そう
- ☆エアコンの温度はこまめに設定しよう
- ☆近くに出かけるときは歩いて行くか、自転車で行こう
- ☆シャワーや水道の水を出しっぱなしにしないようにしましょう
- ☆省エネタイプの製品を選ぼう

### わたしたちにできる自然共生スタイル

- ☆地元で採れた旬のものを食べよう
- ☆自然や生きものにふれ、大切にしよう
- ☆自然保護活動などに参加しよう
- ☆環境負荷の低い商品を選ぼう

環境にやさしいライフスタイルを実践する消費者のことをグリーンコンシューマーという。

2015年の国連サミットで採択された「持続可能な開発目標（SDGs）」は、持続可能な世界を実現するための17のゴール・169のターゲットから構成されており、地球上の誰一人として取り残さないことを誓っている。発展途上国のみならず、先進国自身が取り組む普遍的なものであるとして日本としても積極的に取り組んでいる。

関連するページ

- 地球環境問題とは…………… P.18～19
- 発電方法別の二酸化炭素排出量…………… P.39
- ものづくりとエネルギー…………… P.46

実践しよう

「グリーンコンシューマー」の視点で、商品やサービスを購入しよう。